

2023年4月7日

京王線・井の頭線対象駅に設置

今年も駅のツバメの巣の下にフン受け板を設置します！

～けい太くんとしんごくくんがツバメの成長を見守ります～

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、取締役社長：都村 智史）では、ツバメが巣作りをする春から初夏にかけて、駅の設置可能な箇所に、ツバメのフン受け板を設置します。

本施策は認定特定非営利活動法人バードリサーチの協力のもと、2014年度から実施しています。ツバメは天敵が近づきにくい人通りが多い場所に巣を作るため、駅構内に多く見られます。ツバメは全国的に減少しているため、**生物多様性施策の一環としてツバメの子育てに配慮するとともに**、ツバメのフンがお客さまや施設の床に落下し、ご迷惑をおかけしないようにしています。

フン受け板には葦に止まって羽を休めるツバメのイラストなどと、京王電鉄キャラクター「けい太くん」と新型車両5000系キャラクター「しんごくくん」が描かれています。

また、ツバメの生息地を守るこの取り組みはSDGs（持続可能な開発目標）の「15. 陸の豊かさを守ろう」に貢献しているため、SDGsのロゴマークが掲載されています。

詳細は下記のとおりです。

1. 設置期間 4月～7月ごろ（ツバメが巣を作る時期を中心に設置しています）

2. 設置目的

(1) ツバメのフンがお客さまや施設の床に落下することを防止

(2) ツバメは天敵が近づきにくい人通りが多い場所に巣を作るため、その生息地を守る取り組みとして実施

※駅の形状、巣の位置によってはフン受け板を設置できない場合があります。

※フン受け板はフンの落下を完全に防ぐものではありません。



《昨年の様子（京王線 長沼駅）》



《フン受け板デザイン》